

入学者数、収容定員、在学学生数

※R6年度 ※5/1現在

学科名	コース・専攻名	年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数	備考
情報システム学科		3	30人	90人	19人	72人	

■カリキュラム、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画
・カリキュラム(R6年度)

	専門科目	一般科目
1年次	コンピュータ概論	表計算(EXCEL)
	システム開発概論	文書作成(WORD)
	Java I・II	
	アルゴリズム	
	ネットワークセキュリティ概論	
	インターネット実習基礎	
	データベース設計演習	
	JavaScript 情報処理講座 I	
2年次	ネットワーク実習 I・II	社会人基礎講座 I
	Webアプリケーション演習 I・II	
	アジャイル開発演習 I・II	
	システム開発計画	
	AIプログラミング言語	
	情報処理講座 II・III	
	モバイルアプリケーション I・II	
	AWSクラウド演習	
	AIプログラミング演習	
	Webフレームワーク演習	
3年次	RPA演習	データ管理(Access)
	ネットワーク実習 III	ビジネスプレゼン演習
	プログラミング演習	社会人基礎講座 II
	サーバ構築実習	
	情報セキュリティ	
	IoT演習	
	AI概論	
	卒業研究	

・時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	Java I	コンピュータ概論	システム開発概論	Java I	アルゴリズム
2	システム開発概論	システム開発概論	コンピュータ概論	コンピュータ概論	システム開発概論
3	アルゴリズム	セキュリティ概論	表計算	表計算	
4					

・年間計画(学校行事や課外活動・企業連携・インターンシップなど)

4月	入学式				
5月	フレンドシップ				
6月					
7月					
8月	学園祭	インターンシップ(希望者)			
9月					
10月	情報処理試験	スポーツ大会			
11月	横浜IT研修				
12月		インターンシップ(希望者)			
1月					
2月	卒業制作発表会				
3月	卒業式				

■進級・卒業の条件

・進級条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が進級を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、進級判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・卒業条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が卒業を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、卒業判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・情報システム学科のディプロマ・ポリシー

- ①地域社会・国際社会に貢献できるICTに関する専門的な知識と技術を身に付けている
- ②組織や社会と円滑な関係を築く、コミュニケーション力を身に付けている
- ③社会のニーズに柔軟に対応し、エンジニアとしてより良い社会作りに貢献できる
- ④新しいIT技術にも積極的に取り組むことができる

科目の区分		卒業要件
専門科目	必修	2,100時間
	選択	
一般科目	必修	300時間
	選択	
合計		2,400時間

■学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等

■資格取得、検定試験合格等の実績(R5年度)

資格名	実績	合格者数	受験者数
ITパスポート	20.3%	12名	59名
基本情報技術者試験	20.5%	17名	83名

入学者数、収容定員、在学学生数

※R6年度 ※5/1現在

学科名	コース・専攻名	年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数	備考
ゲームクリエイター学科		3	20人	60人	16人	45人	

■カリキュラム、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画

・カリキュラム(R6年度)

	専門科目	一般科目
1年次	ゲーム企画概論	社会人基礎講座Ⅰ
	ゲームデザインⅠ	表計算
	コンピュータ概論Ⅰ・Ⅱ	
	ゲーム制作基礎	
	プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ	
	アルゴリズム	
	CG実習Ⅰ・Ⅱ	
2年次	ゲーム制作演習Ⅰ	
	ゲームデザインⅡ	ビジネス文書
	ゲームエンジン実習Ⅰ	社会人基礎講座Ⅱ
	Web実習Ⅰ	
	データベース実習	
	DTM実習Ⅰ・Ⅱ	
	ゲーム制作演習Ⅱ・Ⅲ	
3年次	ゲームプログラミング実習	
	Web実習Ⅱ・Ⅲ	社会人基礎講座Ⅲ
	ゲーム制作演習Ⅳ	プレゼンテーション実習Ⅰ・Ⅱ
	卒業制作	
	ゲームエンジン実習Ⅱ	
	サーバー実習	
	デジタルデザイン実習	

・時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	ゲーム企画概論	ゲーム制作基礎	プログラミング実習Ⅰ	コンピュータ概論Ⅰ	コンピュータ概論Ⅰ
2	コンピュータ概論Ⅰ	表計算	ゲーム制作基礎	プログラミング実習Ⅰ	表計算
3	プログラミング実習Ⅰ	ゲーム企画概論	CG実習Ⅰ		社会人基礎講座Ⅰ
4					

・年間計画(学校行事や課外活動・企業連携・インターンシップなど)

4月	入学式				
5月	フレンドシップ				
6月					
7月					
8月	学園祭				
9月	東京ゲーム研修				
10月	スポーツ大会				
11月					
12月					
1月					
2月	作品発表会				
3月	卒業式				

■進級・卒業の条件

・進級条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が進級を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、進級判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・卒業条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が卒業を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、卒業判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・ゲームクリエイター学科のディプロマ・ポリシー

- ①地域社会・国際社会に貢献できるゲーム制作に関する専門的な知識と技術を身に付けている
- ②組織や社会と円滑な関係を築く、コミュニケーション力を身に付けている
- ③社会のニーズに柔軟に対応し、クリエイターとしてより良い社会作りに貢献できる
- ④クリエイターとして主体的・継続的に創作への可能性を追求する姿勢を身に付けている

科目の区分		卒業要件
専門科目	必修	2, 210時間
	選択	
一般科目	必修	190時間
	選択	0
合計		2400時間

■学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等

■資格取得、検定試験合格等の実績(R5年度)

資格名	実績	合格者数	受験者数
ITパスポート試験	10.0%	1名	10名
C言語プログラミング能力認定試験3級	64.3%	9名	14名
Microsoft Office Specialist Excel	91.7%	11名	12名

入学者数、収容定員、在学学生数

※R6年度 ※5/1現在

学科名	コース・専攻名	年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数	備考
ITビジネス学科		2	30人	60人	13人	46人	委託訓練生5名含

■カリキュラム、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画

・カリキュラム(R6年度)

	専門科目	一般科目
1年次	簿記概論	一般常識 I・II
	コミュニケーション技法	ビジネスマナー I・II
	販売プレゼンテーション技法	社会人基礎講座 I
	ビジネスアプリケーション I・II	
	ワープロ実習	
	コンピュータリテラシ I・II	
	リテールマーケティング	
	ビッグデータ	
	Excelハンズオン実習 ※データサイエンス専攻(選択)	
	DXシステム実習 ※Webマーケティング専攻(選択)	
簿記演習 ※オフィスビジネス専攻(選択)		
2年次	FP I・II	ビジネス文書
	パソコン演習 (PowerPoint)	社会人基礎講座 II
	パソコン演習 (Word) Expert	
	パソコン演習 (Excel) Expert	
	データサイエンス	
	プレゼンテーション	
	卒業制作	
	DXシステム実習 ※データサイエンス専攻(選択)	
	応用簿記 ※オフィスビジネス専攻(選択)	
Webマーケティング ※Webマーケティング専攻(選択)		

・時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	一般常識 I	ビジネスアプリケーション I	簿記概論	ビジネスアプリケーション I	ワープロ実習
2	簿記概論	コンピュータリテラシ I	簿記概論	ビジネスマナー I	コンピュータリテラシ I
3	コミュニケーション技法		リテールマーケティング	コンピュータリテラシ I	リテールマーケティング
4					

・年間計画(学校行事や課外活動・企業連携・インターンシップなど)

4月	入学式				
5月	フレンドシップ	ばら祭			
6月					
7月					
8月	学園祭				
9月					
10月	大阪IT研修	スポーツ大会			
11月					
12月					
1月					
2月	卒業制作発表会				
3月	卒業式				

■進級・卒業の条件

・進級条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が進級を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、進級判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・卒業条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が卒業を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、卒業判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・ITビジネス学科のディプロマ・ポリシー

- ①地域社会・国際社会に貢献できるビジネス分野全般に関する専門的な知識を身に付けている
- ②組織や社会と円滑な関係を築く、コミュニケーション力を身に付けている
- ③社会のニーズに対応し、総合職(事務、営業、販売等)としてより良い社会づくりに貢献できる力を身に付けている
- ④ITスキルを活用して資料や数字から事実を読み取り、価値あるものを分析提案できる力を身に付けている

科目の区分		卒業要件
専門科目	必修	1,140時間
	選択	300時間
一般科目	必修	270時間
	選択	
合計		1710時間

■学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等

■資格取得、検定試験合格等の実績(R5年度)

資格名	実績	合格者数	受験者数
経済産業省 ITパスポート試験	21.2%	7名	33名
日本商工会議所主催 日商簿記3級	88.9%	8名	9名
全国経理教育協会 商業簿記3級	90.9%	30名	33名
日本商工会議所主催 販売士3級	63.6%	21名	33名
実務技能検定協会主催 ビジネス文書検定2級	38.1%	8名	21名
文部科学省後援 情報検定2級	81.8%	27名	33名
Microsoft Office Specialist Expert Excel	76.2%	16名	21名
Microsoft Office Specialist Expert Word	95.2%	20名	21名

入学者数、收容定員、在学学生数

※R6年度 ※5/1現在

学科名	コース・専攻名	年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数	備考
グラフィックデザイン学科		2	20人	40人	15人	31人	

■カリキュラム、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画

・カリキュラム(R6年度)

	専門科目	一般科目
1年次	デザイン概論	PC実習(Excel)
	ビジュアルコミュニケーション	社会人基礎 I
	Illustrator実習	
	Photoshop実習	
	色彩概論 I	
	ドローイング	
	DTP基礎	
	イラストレーション I・II	
	Webデザイン実習 I・II	
	ポートフォリオ	
	DTP実習 I	
	ブランディング I	
	モーショングラフィクス I	
修了制作		
2年次	企画コミュニケーション	社会人基礎 II
	デザイン実務 I・II	
	DTP実習 II・III	
	ブランディング II	
	イラストレーション III	
	Webデザイン実習 III・IV	
	モーショングラフィクス II	
	卒業制作	
	UI/UX	

・時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	ビジュアル コミュニケーション	Illustrator実習	ドローイング	Webデザイン実習 I	DTP基礎
2	ビジュアル コミュニケーション	色彩概論 I	ドローイング	Webデザイン実習 I	イラストレーション I
3	Webデザイン実習 I	PC実習(Excel)	色彩概論 I	Photoshop実習	デザイン概論
4					

・年間計画(学校行事や課外活動・企業連携・インターンシップなど)

4月	入学式				
5月	フレンドシップ				
6月					
7月					
8月	学園祭				
9月					
10月	スポーツ大会				
11月					
12月	東京デザイン研修				
1月					
2月	学生デザイン展				
3月	卒業式				

■進級・卒業の条件

・進級条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が進級を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、進級判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・卒業条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が卒業を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、卒業判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・グラフィックデザイン学科のディプロマ・ポリシー

- ①地域社会・国際社会に貢献できるグラフィックデザインに関する専門的な知識と技術を身に付けている
- ②組織や社会と円滑な関係を築く、コミュニケーション力を身に付けている
- ③社会のニーズに柔軟に対応し、デザイナーとしてより良い社会作りに貢献できる
- ④デザインの目的に基づき、品質、コスト、スケジュールを意識した作業計画を立てることができる

科目の区分		卒業要件
専門科目	必修	1620時間
	選択	
一般科目	必修	90時間
	選択	
合計		1710時間

■学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等

■資格取得、検定試験合格等の実績(R5年度)

資格名	実績	合格者数	受験者数
色彩検定3級	50.0%	8名	16名
Microsoft Office Specialist Excel	71.4%	10名	14名
日本グラフィックデザイン協会 ヒロシマ平和ポスター学生コンペティション 入選			
販促会議主催 第15回販促会議企画コンペティション 学生ファイナリスト			
日本グラフィックデザイン協会 JAGDA国際学生ポスターアワード2023 入選			
西日本高速道路株式会社主催 吉備サービスエリア(上り) ゴミのポイ捨て防止横断幕 入選			
福山市世界バラ会議推進室「ばらの日」B2ポスターデザイン 最優秀賞			

入学者数、収容定員、在学学生数

※R6年度 ※5/1現在

学科名	コース・専攻名	年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数	備考
CG・Webデザイン学科		2	20人	40人	13人	26人	

■カリキュラム、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画

・カリキュラム(R6年度)

	専門科目	一般科目
1年次	デザイン概論	PC実習(Excel)
	ビジュアルコミュニケーション	社会人基礎 I
	Illustrator実習	
	Photoshop実習	
	色彩概論 I	
	ドローイング	
	DTP基礎	
	イラストレーション I・II	
	ベーシックデザイン	
	マテリアル	
	ポートフォリオ	
	DTP実習 I	
	ブランディング I	
	モーショングラフィックス I	
グラフィックデザイン実習 I		
Webデザイン基礎 I		
修了制作		
2年次	企画コミュニケーション	社会人基礎 II
	デザイン実務 I・II	
	DTP実習 II・III	
	ブランディング II	
	イラストレーション III	
	パッケージデザイン	
	Webデザイン基礎 II・III	
	グラフィックデザイン実習 II	
	UI/UX	
卒業制作		

・時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	ビジュアル コミュニケーション	Illustrator実習	ドローイング	ベーシックデザイン	DTP基礎
2	ビジュアル コミュニケーション	色彩概論 I	ドローイング	ベーシックデザイン	イラストレーション I
3	マテリアル	PC実習(Excel)	色彩概論 I	Photoshop実習	デザイン概論
4					

・年間計画(学校行事や課外活動・企業連携・インターンシップなど)

4月	入学式				
5月	フレンドシップ				
6月					
7月					
8月	学園祭				
9月					
10月	スポーツ大会				
11月					
12月	東京デザイン研修				
1月					
2月	学生デザイン展				
3月	卒業式				

■進級・卒業の条件

・進級条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が進級を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、進級判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・卒業条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が卒業を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、卒業判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・CGデザイン学科のディプロマ・ポリシー

- ①地域社会・国際社会に貢献できるCG、Webデザインに関する専門的な知識と技術を身に付けている
- ②組織や社会と円滑な関係を築く、コミュニケーション力を身に付けている
- ③社会のニーズに柔軟に対応し、デザイナーとしてより良い社会作りに貢献できる
- ④デザインの目的に基づき、品質、コスト、スケジュールを意識した作業計画を立てることができる

科目の区分		卒業要件
専門科目	必修	1620時間
	選択	
一般科目	必修	90時間
	選択	
合計		1710時間

■学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等

■資格取得、検定試験合格等の実績(R5年度)

資格名	実績	合格者数	受験者数
色彩検定3級	30.8%	4名	13名
Microsoft Office Specialist Excel	76.9%	10名	13名
一般社団法人福山青年会議所主催 びんご推し会議ロゴマークコンペティション 大賞			
日本グラフィックデザイン協会 JAGDA国際学生ポスターアワード2023 入選			
西日本高速道路株式会社主催 吉備サービスエリア(上り) ゴミのポイ捨て防止横断幕 入選			
公益社団法人日本広告制作協会 OAC学生広告クリエイティブアワード2023 モリサワ グラフィック部門準グランプリ			

入学者数、収容定員、在学学生数

※R6年度 ※5/1現在

学科名	コース・専攻名	年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数	備考
マンガ・イラスト学科		2	20人	40人	25人	54人	

■カリキュラム、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画

・カリキュラム(R6年度)

	専門科目	一般科目
1年次	comico実習 I	コンピュータリテラシー
	デッサン I・II	PC実習 I・II
	デジタルデザイン	社会人基礎講座 I
	DTP実習 I・II	
	コミックビジネス I・II	
	コミックツール実習	
	デザインツール実習 I・II	
	マンガ実習 I・II (マンガ選択) イラスト実習 I・II (イラスト選択)	
2年次	comico実習 II・III	社会人基礎講座 II・III
	イラストレーション I・II	
	グラフィックデザイン I・II	
	デザインツール実習 III・IV	
	商業イラスト I・II	
	マンガ実習 III・IV (マンガ選択) イラスト実習 III・IV (イラスト選択)	

・時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	デッサン I	コミックツール実習	コミックビジネス I	マンガ・イラスト実習 I	DTP実習 I
2	デッサン I	コミックツール実習	マンガ・イラスト実習 I	マンガ・イラスト実習 I	DTP実習 I
3	コンピューターリテラシー		デザインツール実習 I	マンガ・イラスト実習 I	PC実習 I
4					

・年間計画(学校行事や課外活動・企業連携・インターンシップなど)

4月	入学式				
5月	フレンドシップ	comico説明会			
6月					
7月					
8月	学園祭				
9月	京都 作品持込	作品講評会			
10月	スポーツ大会				
11月					
12月					
1月					
2月	卒業制作展示会	作品講評会			
3月	卒業式				

■進級・卒業の条件

・進級条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が進級を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、進級判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・卒業条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が卒業を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、卒業判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・マンガ・イラスト学科のディプロマ・ポリシー

- ①地域社会・国際社会に貢献できるマンガ・イラストに関する専門的な知識と技術を身に付けている
- ②組織や社会と円滑な関係を築く、コミュニケーション力を身に付けている
- ③社会のニーズに柔軟に対応し、作家・イラストレーターとしてより良い社会作りに貢献できる
- ④独自の作風や世界観を大切にしつつ柔軟に対応できる技術力を身に付けている

科目の区分		卒業要件
専門科目	必修	1,170時間
	選択	360時間
一般科目	必修	180時間
	選択	
合計		1710時間

■学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等

■資格取得、検定試験合格等の実績(R5年度)

資格名	実績	合格者数	受験者数
illustratorクリエイター能力認定試験スタンダード	42%	11名	26名
photoshopクリエイター能力認定試験スタンダード	54%	7名	13名
Microsoft Office Specialist Excel	89%	25名	28名
文部科学省後援 色彩検定3級	100%	2名	2名
異世界への扉を開ける魔法を ファンタジービネット イラストコンテスト 佳作			
【デザ魂商品化プロジェクト】2024年度版 カレンダープロジェクト!! 優秀賞			
第1回【未来の絵師を発掘!】セブンネットpresents「絵師コレ」コンテスト 優秀賞			

入学者数、收容定員、在学学生数

※R6年度 ※5/1現在

学科名	コース・専攻名	年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数	備考
ネット動画クリエイター学科		2	20人	40人	6人	21人	

■カリキュラム、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画

・カリキュラム(R6年度)

	専門科目	一般科目
1年次	インターネット基礎	Office演習
	撮影演習	社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ
	動画制作基礎	
	動画制作演習	
	動画編集基礎	
	ライブ配信基礎	
	Web制作基礎	
	Webマーケティング基礎	
	総合動画実務Ⅰ	
	デザインツール演習	
	メディア論	
2年次	映像デザイン	
	ポートフォリオ制作	
	修了制作	
	Webマーケティング演習	社会人基礎講座Ⅲ
	総合動画実務Ⅱ	
	総合動画実務Ⅲ	
	卒業制作	
業界研究		
ライブ配信応用(選択)		
Web制作演習(選択)		

・時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	社会人基礎講座Ⅰ	撮影演習	動画制作基礎	動画編集基礎	パソコン演習
2	Office演習Ⅰ	撮影演習	動画制作基礎	動画編集基礎	SNS基礎
3	インターネット基礎	撮影演習	Webマーケティング基礎	ライブ配信基礎	デザインツール演習
4					

・年間計画(学校行事や課外活動・企業連携・インターンシップなど)

4月	入学式				
5月	フレンドシップ				
6月	研修旅行				
7月					
8月	学園祭				
9月					
10月	スポーツ大会				
11月					
12月					
1月					
2月	卒業制作展示会				
3月	卒業式				

■進級・卒業の条件

・進級条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が進級を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、進級判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・卒業条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が卒業を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、卒業判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・ネット動画クリエイター学科のディプロマ・ポリシー

- ①地域社会・国際社会に貢献できる専門性を身につけている
- ②動画クリエイター・Webクリエイターとして必要な基本スキルを授業で学び、演習授業で応用力を身につけている
- ③常に新しいことに挑戦することで、ビジネスの現場で必要となる柔軟な発想力を有し、様々なニーズに応えるコンテンツ制作力を身につけている
- ④多様性を理解し、信頼関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけ、魅力的な情報発信ができる能力を身につけている

科目の区分		卒業要件
専門科目	必修	1,560時間
	選択	
一般科目	必修	150時間
	選択	
合計		1710時間

■学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等

■資格取得、検定試験合格等の実績(R5年度)

資格名	実績	合格者数	受験者数
Microsoft Office Specialist Excel	69%	11名	16名

入学者数、收容定員、在学学生数

※R6年度

※5/1現在

学科名	コース・専攻名	年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数	備考
医療事務・クラーク学科		2年	40人	80人	22人	43人	

■カリキュラム、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画

・カリキュラム(R6年度)

	専門科目	一般科目
1年次	基礎医学	ビジネス文書
	医療関連法規Ⅰ・Ⅱ	コンピュータ演習Ⅰ・Ⅱ
	医療事務Ⅰ・Ⅱ	社会人基礎講座Ⅰ
	メディカルマナーⅠ・Ⅱ	
	調剤事務Ⅰ・Ⅱ	
	検査・薬理学	
	歯科事務Ⅰ	
	医事コンピュータ演習Ⅰ	
2年次	医師事務作業補助Ⅰ・Ⅱ	社会人基礎講座Ⅱ
	医療事務Ⅲ	パソコン応用演習
	歯科事務Ⅱ	商業簿記
	介護事務	
	医事コンピュータ演習Ⅱ	
	コンピュータ関連知識	
	医療機関実習	
	卒業研究Ⅰ・Ⅱ	
	電子カルテ演習	
	医療事務総合	

・時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	コンピュータ演習Ⅰ	基礎医学	メディカルマナーⅠ	ビジネス文書	医療事務Ⅰ
2	医療事務Ⅰ	基礎医学	医療関連法規Ⅰ	ビジネス文書	医療事務Ⅰ
3	医療事務Ⅰ	コンピュータ演習Ⅰ	調剤事務Ⅰ		医療事務Ⅰ

・年間計画(学校行事や課外活動・企業連携・インターンシップなど)

4月	入学式				
5月	フレンドシップ				
6月					
7月	前期末試験				
8月	病院実習	学園祭			
9月					
10月	スポーツ大会				
11月					
12月					
1月	後期末試験				
2月	卒業研究発表会	日本医療秘書学会学術大会			
3月	卒業式				

■進級・卒業の条件

・進級条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が進級を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、進級判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・卒業条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が卒業を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、卒業判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・医療事務学科のディプロマ・ポリシー

- ①地域社会・国際社会に貢献できる医療事務職として必要な専門知識と技術を身につけている
- ②思いやりの心を持ち、倫理観と責任感、幅広い視野を持った心豊かな人間性を身につけている
- ③医療知識、医療保険制度を統合的に理解し、多職種と協働できるコミュニケーション能力を身につけている
- ④自ら研究する姿勢を持ち、医療事務の知識のみならず関連する領域の発展に貢献できる能力を身につけている

科目の区分		卒業要件
専門科目	必修	540時間
	必須選択	870時間(450時間)
一般科目	必修	300時間
	必須選択	(420時間)
合計		1710時間

()内は美容医療コース

■学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等

■資格取得、検定試験合格等の実績(R5年度)

資格名	実績	合格者数	受験者数
技能認定協会主催 医療事務管理士技能認定試験(医科)	95%	20名	21名
日本医療保険事務協会主催 診療報酬請求事務能力認定試験(医科)	15%	7名	47名
実務技能検定協会主催 ビジネス文書技能検定試験3級	100%	23名	23名
Microsoft Office Specialist Excel&Word	100%	21名	21名
技能認定協会主催 医療事務管理士技能認定試験(歯科)	75%	21名	28名
技能認定振興協会主催 調剤事務管理士技能認定試験	90%	19名	21名
技能認定振興協会主催 介護事務管理士技能認定試験	79%	22名	28名
技能認定振興協会主催 ドクターズオフィスワークアシスト認定試験	81%	22名	27名
医療秘書教育全国協議会主催 医事コンピュータ技能検定試験3級	100%	27名	27名
技能認定振興協会主催 ホスピタルコンシェルジュ認定試験3級	100%	21名	21名

入学者数、収容定員、在学学生数

※R6年度 ※5/1現在

学科名	コース・専攻名	年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数	備考
動物看護総合学科	動物看護医療コース	3	30人	90人	33人	93人	

※R5.4より専攻分け(旧:動物看護総合学科)

R5.4 専攻名:動物医療教育専攻

R6.4 専攻名:動物看護医療コース

■カリキュラム、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画

・カリキュラム(R6年度)

	専門科目	一般科目
1年次	動物形態機能学Ⅰ・Ⅱ	トリミング実習Ⅰ・Ⅱ
	動物行動学	ペット美容学Ⅰ
	動物栄養学Ⅰ	犬種標準学
	動物看護学概論	PC実習
	動物感染症学Ⅰ・Ⅱ	サービス接遇
	動物内科看護学Ⅰ・Ⅱ	
	愛玩動物学Ⅰ・Ⅱ	
	動物形態機能学実習	
	動物内科看護学実習Ⅰ・Ⅱ	
	動物愛護・適正飼養実習Ⅰ	
	動物看護総合実習Ⅰ・Ⅱ	
	2年次	生命倫理・動物福祉
比較動物学Ⅰ		ペット美容学Ⅱ
動物病理学		社会人基礎講座Ⅰ
動物感染症学Ⅲ		ビジネス文書
公衆衛生学Ⅰ		
動物外科看護学Ⅰ・Ⅱ		
動物臨床看護学各論Ⅰ・Ⅱ		
動物臨床検査学Ⅰ・Ⅱ		
動物医療コミュニケーション		
動物生活環境学		
ペット関連産業概論		
動物臨床検査学実習Ⅰ・Ⅱ		
動物外科看護学実習Ⅰ・Ⅱ		
動物愛護・適正飼養実習Ⅱ		
動物看護総合実習Ⅲ		
3年次	動物繁殖学	社会人基礎講座Ⅱ
	動物栄養学Ⅱ	動物看護技術実習Ⅰ・Ⅱ
	比較動物学Ⅱ	愛玩動物看護学
	動物看護関連法規	
	動物愛護・適正飼養関連法規	
	動物薬理学Ⅰ・Ⅱ	
	公衆衛生学Ⅱ	
	動物内科看護学Ⅲ	
	動物臨床看護学総論	
	動物臨床看護学各論Ⅲ・Ⅳ	
	人と動物の関係学	
	適正飼養指導論Ⅰ・Ⅱ	
	動物内科看護学実習Ⅲ・Ⅳ	
	動物外科看護学実習Ⅲ	
	動物臨床看護学実習	
動物看護総合実習Ⅳ		

・時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	サービス接遇	動物内科看護学Ⅰ		愛玩動物学Ⅰ	動物形態機能学実習
2	トリミング実習	動物内科看護学実習Ⅰ	動物感染症学Ⅰ	動物形態機能学Ⅰ	動物形態機能学実習
3	トリミング実習	PC実習	動物行動学	動物形態機能学Ⅰ	動物看護学概論
4					

・年間計画(学校行事や課外活動・企業連携・インターンシップなど)

4月	入学式			
5月	高度医療実習(3年次)	フレンドシップ(1年次)		
6月	国立大学特別授業(1,2年次)			
7月	アカデミックフェア			
8月	インターンシップ(2,3年次)	学園祭		
9月	アニコムペット保険講習会(2年次)	アカデミックフェア		
10月	国立大学特別授業(1,2年次)	わんわんフェスタ		
11月	トリミング特別講演会			
12月	動物校大掃除			
1月	動物系企業講演会(千寿製菓)3年次			
2月	全国動物専門学校協会トリミングコンペ(3年次)	海外動物研修(希望者)		
3月	インターンシップ(1,2年次)	卒業式	JKCTトリミング全国大会(3年次)	

■進級・卒業の条件

・進級条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が進級を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、進級判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・卒業条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が卒業を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、卒業判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・動物看護総合学科のディプロマ・ポリシー

- ①地域社会・国際社会に貢献できる動物医療及び美容に関する専門的な知識を身に付けている
- ②動物看護師として、飼い主と円滑なコミュニケーションができる
- ③社会のニーズに柔軟に対応し、動物と人間のよりよい社会作りに貢献できる。
- ④積極的かつ謙虚に自分自身の能力を見極め、更なる向上を目指すことができる。

科目の区分		卒業要件
専門科目	必修	2,340時間
	選択	
一般科目	必修	150時間
	選択	
合計		2,490時間

■学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等

■資格取得、検定試験合格等の実績(R5年度)

資格名	実績	合格者数	受験者数
国家資格 愛玩動物看護師	77.8%	21名	27名
社団法人ジャパンケネルクラブ トリマーC級	85.2%	23名	27名
公益財団法人実務技能検定協会主催 サービス接客検定 3級	86.2%	25名	29名
財団法人実務技能検定協会主催 ビジネス文書技能検定試験 3級	96.9%	31名	32名
日本情報処理検定協会主催 日本語ワープロ検定試験 準1級	100.0%	1名	1名
日本情報処理検定協会主催 日本語ワープロ検定試験 2級	100.0%	5名	5名
日本情報処理検定協会主催 日本語ワープロ検定試験 準2級	100.0%	6名	6名
日本情報処理検定協会主催 日本語ワープロ検定試験 3級	93.8%	15名	16名
損害保険募集人一般試験	97.0%	32名	33名

入学者数、収容定員、在学学生数

※R6年度 ※5/1現在

学科名	コース・専攻名	年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数	備考
動物看護総合学科	動物看護セラピーコース	3	30人	90人	11人	17人	R5.4 専攻新設

R5.4 専攻名:動物介在教育専攻

R6.4 専攻名:動物看護セラピーコース

■カリキュラム、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画

・カリキュラム(R6年度)

	専門科目	一般科目
1年次	動物形態機能学Ⅰ・Ⅱ	トリミング実習Ⅰ・Ⅱ
	動物行動学	ペット美容学Ⅰ
	動物栄養学Ⅰ	犬種標準学
	動物看護学概論	PC実習
	動物感染症学Ⅰ・Ⅱ	サービス接遇
	動物内科看護学Ⅰ・Ⅱ	福祉概論
	愛玩動物学Ⅰ・Ⅱ	
	動物形態機能学実習	
	動物内科看護学実習Ⅰ・Ⅱ	
	動物愛護・適正飼養実習Ⅰ	
	動物看護総合実習Ⅰ・Ⅱ	
2年次	生命倫理・動物福祉	トリミング実習Ⅲ
	比較動物学Ⅰ	ペット美容学Ⅱ
	動物病理学	社会人基礎講座Ⅰ
	動物感染症学Ⅲ	ビジネス文書
	公衆衛生学Ⅰ	人間心理学
	動物外科看護学Ⅰ・Ⅱ	
	動物臨床看護学各論Ⅰ・Ⅱ	
	動物臨床検査学Ⅰ・Ⅱ	
	動物医療コミュニケーション	
	動物生活環境学	
	ペット関連産業概論	
	動物臨床検査学実習Ⅰ・Ⅱ	
	動物外科看護学実習Ⅰ・Ⅱ	
動物愛護・適正飼養実習Ⅱ		
動物看護総合実習Ⅲ		
3年次	動物繁殖学	社会人基礎講座Ⅱ
	動物栄養学Ⅱ	動物介在活動学Ⅰ・Ⅱ
	比較動物学Ⅱ	AAA実習Ⅰ・Ⅱ
	動物看護関連法規	愛玩動物看護学
	動物愛護・適正飼養関連法規	
	動物薬理学Ⅰ・Ⅱ	
	公衆衛生学Ⅱ	
	動物内科看護学Ⅲ	
	動物臨床看護学総論	
	動物臨床看護学各論Ⅲ・Ⅳ	
	人と動物の関係学	
	適正飼養指導論Ⅰ・Ⅱ	
	動物内科看護学実習Ⅲ・Ⅳ	
	動物外科看護学実習Ⅲ	
動物臨床看護学実習		
動物看護総合実習Ⅳ		

・時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	サービス接遇	動物内科看護学Ⅰ		愛玩動物学Ⅰ	動物形態機能学実習
2	トリミング実習	動物内科看護学実習Ⅰ	動物感染症学Ⅰ	動物形態機能学Ⅰ	動物形態機能学実習
3	トリミング実習	PC実習	動物行動学	動物形態機能学Ⅰ	動物看護学概論
4					

・年間計画(学校行事や課外活動・企業連携・インターンシップなど)

4月	入学式				
5月	フレンドシップ(1年次)				
6月	AAA活動(3年次)				
7月	アカデミックフェア				
8月	インターンシップ(2,3年次)	学園祭			
9月	アニコムペット保険講習会(2年次)	アカデミックフェア			
10月	わんわんフェスタ				
11月	トリミング特別講演会				
12月	動物校大掃除				
1月	動物系企業講演会(千寿製菓)3年次				
2月	全国動物専門学校協会トリミングコンペ(3年次)	海外動物研修(希望者)			
3月	インターンシップ(1,2年次)	卒業式	JKCTトリミング全国大会(3年次)		

■進級・卒業の条件

・進級条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が進級を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、進級判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・卒業条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が卒業を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、卒業判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・動物看護総合学科のディプロマ・ポリシー

- ①地域社会・国際社会に貢献できる動物医療及び美容に関する専門的な知識を身に付けている
- ②動物看護師として、飼い主と円滑なコミュニケーションができる
- ③社会のニーズに柔軟に対応し、動物と人間のよりよい社会作りに貢献できる。
- ④積極的かつ謙虚に自分自身の能力を見極め、更なる向上を目指すことができる。

科目の区分		卒業要件
専門科目	必修	2, 340時間
	選択	
一般科目	必修	150時間
	選択	
合計		2, 490時間

■学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等

■資格取得、検定試験合格等の実績(R5年度)

資格名	実績	合格者数	受験者数
公益財団法人実務技能検定協会主催 サービス接客検定 3級	66.7%	4名	6名
日本情報処理検定協会主催 日本語ワープロ検定試験 3級	100.0%	6名	6名

※R5.4新設のため、卒業生実績なし。R5.4、R6.4生の実績のみ

入学者数、收容定員、在学学生数

※R6年度 ※5/1現在

学科名	コース・専攻名	年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数	備考
動物健康美容学科		2	20人	40人	22人	49人	

■カリキュラム、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画
・カリキュラム(R6年度)

	専門科目	一般科目
1年次	犬学Ⅰ・Ⅱ	PC実習
	公衆衛生学Ⅰ	ビジネス文書
	動物健康管理・看護学	サービス接遇
	飼養管理学Ⅰ	社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ
	動物行動学	
	ペットショップ学Ⅰ・Ⅱ	
	ドッグトレーニング	
	グルーミング総論	
	グルーミング各論	
	グルーミング基礎実習	
グルーミング応用実習		
2年次	犬学Ⅲ・Ⅳ	社会人基礎講座Ⅲ・Ⅳ
	公衆衛生学Ⅱ	
	動物栄養学	
	飼養管理学Ⅱ	
	繁殖飼育学	
	ペットショップ学Ⅲ・Ⅳ	
	トリミング総論	
	トリミング各論	
	トリミング実習	
プロフェッショナルトリミング		

・時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	ペットショップ学Ⅰ	グルーミング基礎実習	犬学Ⅰ	グルーミング基礎実習	グルーミング総論
2	公衆衛生学Ⅰ	グルーミング基礎実習	動物行動学	グルーミング基礎実習	サービス接遇
3	動物健康管理・看護学	グルーミング基礎実習	PC実習	グルーミング基礎実習	社会人基礎講座Ⅰ
4					

・年間計画(学校行事や課外活動・企業連携・インターンシップなど)

4月	入学式				
5月	フレンドシップ				
6月					
7月	アカデミックフェア				
8月	インターンシップ(2年次)	学園祭			
9月	アニコムペット保険講習会(2年次)				
10月	スポーツ大会	わんわんフェスタ			
11月	トリミング特別講演会	愛玩動物飼養管理士対策授業(1,2年次)			
12月	動物校大掃除				
1月					
2月	全園動物専門学校協賛トリミングコンペ(2年次)	海外動物研修(希望者)			
3月	インターンシップ(1年次)	卒業式	JKCTトリミング全国大会		

■進級・卒業の条件

・進級条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が進級を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、進級判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・卒業条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が卒業を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、卒業判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・動物健康美容学科のディプロマ・ポリシー

- ①地域社会・国際社会に貢献できる動物美容に関する専門的な知識を身に付けている
- ②トリマー(グルーマー)として、飼い主と円滑なコミュニケーションができる
- ③社会のニーズに柔軟に対応し、動物と人間のより良い社会作りに貢献できる
- ④積極的かつ謙虚に自分自身の能力を見極め、更なる向上を目指すことができる

科目の区分		卒業要件
専門科目	必修	1500時間
	選択	
一般科目	必修	210時間
	選択	
合計		1710時間

■学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等

■資格取得、検定試験合格等の実績(R5年度)

資格名	実績	合格者数	受験者数
日本愛玩動物協会認定 愛玩動物飼養管理士 2級	91.7%	22名	24名
日本愛玩動物協会認定 愛玩動物飼養管理士 1級	72.2%	13名	18名
社団法人ジャパンケネルクラブ トリマーC級	88.9%	16名	18名
公益財団法人実務技能検定協会主催 サービス接客検定 3級	72.0%	18名	25名
財団法人実務技能検定協会主催 ビジネス文書技能検定試験 3級	80.0%	20名	25名
日本情報処理検定協会主催 日本語ワープロ検定試験 準2級	87.5%	7名	8名
日本情報処理検定協会主催 日本語ワープロ検定試験 3級	86.7%	13名	15名
損害保険募集人一般試験	83.3%	15名	18名
全国動物専門学校協会認定 サロントリマー3級	100.0%	24名	24名

入学者数、收容定員、在学学生数

※R6年度

※5/1現在

学科名	コース・専攻名	年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数	備考
公務員ビジネス学科		2年	20人	40人	14人	28人	

■カリキュラム、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画

・カリキュラム(R6年度)

	専門科目	一般科目
1年次	社会科学Ⅰ(遠隔)	漢字発展
	社会科学Ⅰ	実務教養演習
	人文科学Ⅰ(遠隔)	実務数理演習
	人文科学Ⅰ	
	自然科学Ⅰ	
	判断推理Ⅰ(遠隔)	
	判断推理Ⅰ	
	数的推理Ⅰ(遠隔)	
	数的推理Ⅰ	
	公務員総合演習Ⅰa・Ⅰb・Ⅰc	
	プラスワンⅠ	
2年次	社会科学Ⅱ(遠隔)	財務処理入門
	社会科学Ⅱ	実務検定
	人文科学Ⅱ(遠隔)	実務研修
	人文科学Ⅱ	
	自然科学Ⅱ	
	判断推理Ⅱ(遠隔)	
	判断推理Ⅱ	
	数的推理Ⅱ(遠隔)	
	数的推理Ⅱ	
	公務員総合演習Ⅱa・Ⅱb・Ⅱc	
	プラスワンⅡ	

・時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	社会科学Ⅰ	自然科学Ⅰ	公務員総合演習Ⅰa	自然科学Ⅰ	公務員総合演習Ⅰa
2	判断推理	社会科学Ⅰ	人文科学Ⅰ	判断推理Ⅰ	公務員総合演習Ⅰa
3		プラスワンⅠ	自然科学Ⅰ	人文科学Ⅰ	判断推理Ⅰ
4		数的推理	数的推理	人文科学Ⅰ	

・年間計画(学校行事や課外活動・企業連携・インターンシップなど)

4月	プレ授業	入学式	業務説明会		
5月	フレンドシップ				
6月	業務説明会				
7月					
8月	期末試験	救命講習	学園祭		
9月	広島研修				
10月	秋休み(補講)	二次試験面接対策	スポーツ大会		
11月	二次試験面接対策				
12月					
1月	期末試験				
2月					
3月	卒業式				

■進級・卒業の条件

・進級条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が進級を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、進級判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・卒業条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が卒業を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、卒業判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・公務員ビジネス学科のディプロマ・ポリシー

- ①地域社会・国際社会に貢献できる公務員として必要な高い倫理観を身につけている
- ②公務員として地域の発展と向上のために、継続的な学習を尊び、日々努力を続けることに重きを置くことができる
- ③他者と積極的に交わり、明るく協力していくことに努力を惜しまないことができる
- ④社会全体に目を向け、特に地域に対する問題意識、当事者意識を持ち、公德心を高く持つことができる

科目の区分		卒業要件
専門科目	必修	1298時間
	選択	
一般科目	必修	412時間
	選択	
合計		1710時間

- 学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等
- 資格取得、検定試験合格等の実績(R5年度)

資格名	実績	合格者数	受験者数
1次試験合格率	79.3%	23名	29名
最終試験合格率(1次試験合格者)	78.3%	18名	23名
最終試験合格率(対象学生分母)	62.1%	18名	29名

入学者数、收容定員、在学学生数

※R6年度

※5/1現在

学科名	コース・専攻名	年限	定員	総定員	入学者数	在籍者数	備考
公務員学科		1年	30人	30人	4人	4人	

■カリキュラム、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画

・カリキュラム(R6年度)

	専門科目	一般科目
1年次	社会科学Ⅰ(遠隔)	漢字発展
	社会科学Ⅰ	実務教養演習
	人文科学Ⅰ(遠隔)	実務数理演習
	人文科学Ⅰ	実務研修(選択)
	自然科学Ⅰ	
	判断推理Ⅰ(遠隔)	
	判断推理Ⅰ	
	数的推理Ⅰ(遠隔)	
	数的推理Ⅰ	
	公務員総合演習Ⅰa・Ⅰb・Ⅰc	
	プラスワンⅠ	

・時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	社会科学Ⅰ	自然科学Ⅰ	公務員総合演習Ⅰa	自然科学Ⅰ	公務員総合演習Ⅰa
2	判断推理	社会科学Ⅰ	人文科学Ⅰ	判断推理Ⅰ	公務員総合演習Ⅰa
3		プラスワンⅠ	自然科学Ⅰ	人文科学Ⅰ	判断推理Ⅰ
4		数的推理	数的推理	人文科学Ⅰ	

・年間計画(学校行事や課外活動・企業連携・インターンシップなど)

4月	プレ授業	入学式	業務説明会		
5月	フレンドシップ				
6月	業務説明会				
7月					
8月	期末試験	救命講習	学園祭		
9月	広島研修				
10月	秋休み(補講)	二次試験面接対策	スポーツ大会		
11月	二次試験面接対策				
12月					
1月	期末試験				
2月					
3月	卒業式				

■進級・卒業の条件

・卒業条件

下記の条件をすべて満たした者は、校長が卒業を認定する。

ただし、特別の事由がある場合で、卒業判定会議において認められた場合は、この限りではない。

- ①成績評価が原則すべてC以上であること。
- ②各年次の年間総授業時間数の80%以上出席していること。
- ③該当年度の学費がすべて納入されていること。

・公務員学科のディプロマ・ポリシー

- ①地域社会・国際社会に貢献できる公務員として必要な高い倫理観を身につけている
- ②公務員として地域の発展と向上のために、継続的な学習を尊び、日々努力を続けることに重きを置くことができる
- ③他者と積極的に交わり、明るく協力していくことに努力を惜しまないことができる
- ④社会全体に目を向け、特に地域に対する問題意識、当事者意識を持ち、公德心を高く持つことができる

科目の区分		卒業要件
専門科目	必修	630時間
	選択	
一般科目	必修	220時間
	選択	
合計		850時間

■学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等

■資格取得、検定試験合格等の実績(R5年度)

資格名	実績	合格者数	受験者数
高校卒業程度公務員試験1次合格	100.0%	27名	27名
高校卒業程度公務員試験最終合格	96.3%	26名	27名
漢字検定準2級	96.3%	26名	27名